

古今東西 くんぐん 行きます!

郡市長がさまざまな現場を訪問し
市民の皆さまの活動の様子な
どをお伝えします



動物との触れ合いを通じた活動を行う「NPO法人エーキューブ」の皆さんにお話を伺いました。

触れ合いが育む優しい心

人と動物が幸せに暮らせる地域社会づくりに貢献するために設立された「NPO法人エーキューブ」。平成13年に市で実施した動物介在活動セミナーの受講生が翌年ボランティアチームを発足させ、以来20年以上にわたり活動を続けています。

良仲と犬を
演者と犬を
触れ合う
ポイント
など
「急に触らない」など、犬の反応を察するポイント。犬と触れ合う際は、犬の反応を察し、無理に近づけず、犬のペースに合わせて触れ合います。また、犬の体調や気分の状態を確認し、必要に応じて活動を中止します。

える活動を行っていました。

「「こどもたちに思いやりのある心を育ててほしい」という思いでこの活動をしています。犬はこども



の優しさを引き出す名手。お友達に強く当たってしまうような子でも、犬の前にすると自然と優しさが出てくるんです」と話すのは、副理事長の佐々木ひとみさん。理事の岩井美和子さんは「病院や高齢者施設などでも、犬と接すると心が通じ合ったようにみんな笑顔になる。そういう場面を見るとこちらもうれしくなります」とやりがいを感じているようです。「活動の前日に準備をしていると、犬も明日は仕事だと理解している雰囲気があります。犬にとっても活動を楽しんでいるように意識しています」と後藤理事長は犬に対する思いを話します。

災害からも動物も守る

エーキューブがもう一つ力を入れて取り組んでいるのが、災害時のペット同行避難の啓発活動です。

事務局長の千葉浩二さんは「東日本大震災では、犬を助けようとした方が津波に巻き込まれたという話もありま

した。そのような悲しみを繰り返さないよう、ペットと一緒に避難することを広めていくのも私たちの役目だと思っています」と思いを話します。後藤理事長も「ペットの命を守ることは飼い主の命を守ることもつながる、という認識を広げていきたい」とした上で、「避難所には動物が苦手な方やアレルギーがある方もいます。飼い主の責任として、ペットをケージに慣れさせたり、いざというときに預け合える仲間をつくったりすることも大切です」と続け、私も日頃の備えの重要性をあらためて感じました。

今後について「より多くの方にこの活動を知っていただき、取り組みの輪も広げていきたい」という佐々木さんの言葉に、皆さんもうなずいていました。

人と動物との絆を大切に

動物を介して、たくさんの人を笑顔にしているエーキューブの皆さん。人と動物の絆を大切にする精神が、長い間活動を続けられる原動力になっていると感じました。

本市としても皆さんと協力し、人と動物が幸せに生きていけるま



▲後列左から佐々木さん、市長。前列左から後藤さん、千葉さん、岩井さん